

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 庄内厚生館 福祉型障害児入所施設 木埋学園
------	---------------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和7年1月16日

③事業者情報

名称：社会福祉法人 庄内厚生館 福祉型障害児入所施設 木埋学園	種別：福祉型障害児入所施設
代表者氏名：理事長 伊藤 秀海	定員（利用人数）20名（18名）
所在地：〒879—5406 由布市庄内町西長宝1426番地2	
TEL：097—582—1212	

④総評

◇評価の高い点

- ・法人全体として庄内厚生館ビジョン2026を策定し、「利用者本位の最良の福祉」基本理念を掲げて、利用者の方々の個々のニーズに合わせ、一人ひとりに寄り添った福祉サービスの提供を組織的・計画的に取り組んでおり、適切な生活支援及び職業支援に取り組んでいる。
- ・中長期計画書で新築移転計画が明記されており、施設の老朽化で福祉サービスの提供が限定される環境の中で、安全面や衛生面等で緊急性のある箇所は修繕整備が行われている。重度・重複障がい・発達障がい・虐待児など、個別対応が必要な入所児童が増している中、児童の基本的な生活習慣の確立、豊かな心情の育成等の支援の観点から、より家庭に近い生活環境・個室対応等々、個々児童に配慮した住居環境づくりの移転施設整備が課題であり、今後とも、地域の関係機関と協議しながら継続的に取り組んでいくことを期待する。
- ・法人全体として働きやすい職場づくりを目指し、時間外勤務の軽減や年次有給休暇取得の促進を図るなどして、職員の心身の健康と安全の確保に努めている。また、「健康経営優良法人2024」に認定され、職員一人ひとりの健康管理を経営的な視点で考えて、職員の心身の健康保持・増進を基盤と考えて、福祉人材の確保・育成等について、具体的に取り組んでいる。
- ・利用者を尊重した福祉サービスが提供されており、施設の基本姿勢とした「支援目標」が明示され、組織内で共通の理解が図られている。また、権利擁護に関する研修会等を実施して、組織全体で基本的人権の意識向上に取り組んでいる。

- ・利用者の権利擁護についての規定が整備され、ホームページにて公開し周知している。内部・外部研修会にて職員が検討する機会を定期的に設けており、虐待防止チェックリストなどを活用して法人全体で取り組んでいる。
- ・JR やバスを利用した外出や、本人の意向を尊重して柔軟な対応を行っている。地域の公民館の文化活動に参加している。
- ・児童発達支援管理責任者を中心に、個別支援計画を組み立て活動プログラムを実施している。「こどもグループワーク」で2か月に1度助産師を講師に性教育を実施した。

◇改善を求められる点

- ・施設の老朽化と人員不足については、法人全体の問題としての取組を期待する。
- ・卒園後の生活を見通して専門的な支援ができる、職種・人材が配置できるような制度改正を職員も切望しており、その必要性を感じる。
- ・引き続き地域の支援ネットワークを広げるとともに、利用者の働く力、可能性を引き出すような取組支援を継続することを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今年度初めて第三者評価を受審致しました。
福祉サービスを提供する施設のサービスの質について、公正・中立な立場で専門的かつ客観的などころから評価を行っていただけたことは、施設にとってサービスの質の向上を促すきっかけ作りになりました。
改善すべき点については職員へ周知・徹底を行うとともに、早期の改善に努めたいと思います。
また、評価を頂けた点についても、この評価に甘んずることなく、児童にとってより良いサービスを提供していくよう努めていきたいと思っています。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）